

ok 広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 26年 8月 16日			
所属学部・研究科	文学部ドイツ文学専攻	3年次 (留学開始時点)		
留学先大学	テュービンゲン大学 (国名: ドイツ)			
所属学部・学科等名	Germanistik			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 25年 9月 10日 ~ 平成 26年 7月 29日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: 学生ビザ			
	ビザ申請先: テュービンゲンの役所			
	取得方法, 提出書類: 規定の書類 2,3 枚を提出後、役所から手紙が来るまで待つ。 ビザの交付までには多少時間がかかる。			
	手続きに要した日数: 約 1 か月			
その他必要な 事前手続き				
出国年月日	平成 25年 9月 9日			
経路	成田空港→ミュンヘン空港→ミュンヘン中央駅→テュービンゲン駅			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	事前申し込みが必要であるが、スタートコースというものがオリエンテーションにあたると思われる。ビザの書類の書き方などを教えてくれる。期間は1か月			
帰国年月日	平成 26年 7月 29日			
経路	テュービンゲン駅→ミュンヘン中央駅→ミュンヘン空港→羽田空港→広島空港			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	1,265,000	円	
	内訳	渡航費	200,000	円
		保険料	260,000	円
		教科書代(学費)	5,000	円
		宿舍費	400,000	円
		食費	220,000	円
		その他 (旅行費)	180,000	円
(費)		円		
(費)		円		
3. 授業について				
3年 冬学期	10月 5日	~	2月 8日	

4年 夏学期	4月 13日 ~ 7月 5日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	留学生向けの語学授業と現地向けの講義がある。
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	積極的に質問をする。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の広さ	約 m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (4人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり 260 ユーロ (現地通貨) 約 33,800 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	料理を少しくらいできるようにしておくとおと楽です。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> なかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 180,000 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	手洗いうがいを毎日した。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
空気が乾燥しており、水も硬水なので、スキンケアグッズを持っておくとよい。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 28 年 3 月	(当初の卒業予定年月 平成 27 年 3 月)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4 年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input checked="" type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	就職を今のところ考えている。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	出来るだけ多くの単位を渡航前に取得した。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
節度を守って行動すればきっと留学生活はよいものとなります。がんばってください。		

学修の概要に関するレポート

私は HUSA で 1 年間ドイツのテュービンゲンに留学した。日本国内で留学に必要なことはあまりなく、現地から届く書類やメールに目を通してその返信を送ることくらいである。早く返信をしなければならない場合もなるのでメールに関しては常に注意が必要である。

テュービンゲン大学ではスタートコースというものがある。このコースは 8 月に 1 回、9 月に 1 回開かれる。このコースでは文法の基礎を学べるほか、滞在許可証などの手続きを一緒にやってくれ、さらに講義の選択の仕方を現地のチューターが丁寧に教えてくれるのだ。したがって 8 月や 9 月に時間があれば、ぜひ参加すべきだと思う。

そのスタートコースが終わると本格的に講義が始まる。講義に関してだが、主に留学生用の語学の授業と現地の学生用の講義の 2 種類ある。留学生用の語学の授業はまず授業テーマと日時が掲載されている冊子を買う必要がある。スタートコースを申し込んだ学生は最初にもらえるのだが、その冊子を見ながら自分のレベルに適している授業を探し、合計で 3 つ選択することができる。この授業はネットで履修登録するのではなく、あらかじめ配布されている書類に書いて、それを事務室に提出する形をとっている。基本的には週 1 の授業だが週 3 回の授業もあり、選択する上で申込みの期限が違うものもあるのでそれには十分気を付けなければいけない。

現地の学生向けの講義は留学生用の授業と違い、インターネット上で履修登録をする。ドイツ語だけでなく英語で行われる講義もあるのだがこれは英語が母語である学生向けであるので、ドイツ語を選択すべきである。またこの講義では当たり前だが専門用語など全てドイツ語であるので、あらかじめ自分の専攻でよく用いられる専門用語がドイツ語で何というのか調べておくほうが良い。

テュービンゲン大学は運動場の施設がとても整っており、ほとんどすべての競技ができるといっても過言ではない。その運動場を使って運動系の授業が行われるのだが、これはとても倍率が高く、参加することが難しい。ただ参加すると現地の学生ともコミュニケーションがとれるので運動が好きな学生は挑戦するのもいいと思う。また、大学内には Japanologie (日本学) の建物がある。ここでは語学の講義や歴史学の講義が行われており、海外での日本語教育の現場を見ることができたため、とても興味深かった。

私が学習に関して一番大事だと思ったことは、何かわからないところがあったら恥ずかしがらずにすぐに質問することだ。向こうが察してくれるだろうという考えは海外では通用しない。わからなかった点や聞き逃した点は質問するなど自分から動くことが授業や講義を理解する第一歩であり、留学生活で大いに必要になることであると私は思う。



テュービンゲンを流れる川
(ここがテュービンゲンで一番有名な場所)



旧市街

生活の概要に関するレポート

私はドイツのテュービンゲンという街で1年間暮らしたが、その留学生活で留意すべき点を交通、食、住、気候、そして治安の観点から記したい。

まずは交通である。テュービンゲン内はバスが通っており、ほとんどの学生がバスを使って通学している。その定期を買うと隣町である Reutlingen やアウトレットストアがある Metzingen にも行く事が出来る。テュービンゲンは学生街であり、若者が多いはずなのだが残念ながら服屋がかなり少ない。したがって衣服を買うには電車で他の町に買いに行く必要がある。

食に関してはスーパーがあり、大型スーパーも少し離れてはいるがあるので困ることはないと言える。日本食を売っている輸入食品屋が2軒あり、そこで乾麺や調味料などを買う事が出来る。ただ、輸入食品だけあってすべての商品が割高である。醤油や焼きそば、カップラーメンなどは普通のスーパーで取り扱っているのも、それ以外のもの(例えば粉末調味料など)は出来るだけ日本から持っていった方が安上がりになる。テュービンゲンは南に位置しているため新鮮な魚介類を見る機会がほとんどない。一部のスーパーには鮮魚コーナーのようなところがあるのだが鮮度に関してはやはり日本のそれには残念ながら及ばない。少し割高であるが冷凍のサーモンが一般的であるので、魚が食べたい場合はそれを買うとよい。ただ日本食を毎日食べたいという願望がなければ普通のスーパーでも何の不自由なく食生活を楽しめると思う。

留学生は基本的に寮生活をしていて、街の中でも寮が点在している。しかしどの寮でも基本的にバスを使用して行く事が出来るので、例えば友達が違う寮に住んでいたとしても遊んだりすることができる。トイレやキッチン、シャワーは基本的には共同であるが、寮によっては個人のところもある。どの寮でもヒーターは付いているので、冬でも室内は快適である。家具は備え付けであるが、もし何か足りない場合は IKEA で買うこともでき、安く済ませたい場合はフリーマーケットで買うとよい。

気候に関してだが、どの季節でもすごしやすい。夏は日中暑いのだが朝晩は冷え込むため上着を常に1枚もっているとよい。冬は雪が降るのでなるべくブーツみたいなものを持っておくといいかもしれない。ただ私が行った年は異常気象であり、積雪が全くなかったのだが、どの季節でも空気は乾燥しており、特に冬はヒーターも稼働しているのでとても肌が乾燥する。水も日本と違って硬水であるので肌が気になる人はスキンケア用品を持っておくとうまいと思う。

最後に治安に関してだが、テュービンゲンはかなり小さい町で治安も悪くなく、普通に過ごすには全くと言っていいほど問題のないところだと思う。ただ、だからといって油断して無防備に深夜の外出などをするのはあまり賢明ではない。節度をもった行動を心がければ何の問題もなく、有意義な留学生活を送れると私は思う。



学生寮



市庁舎